

小田急線上部利用区民意見検討委員会

小田急線上部利用区民意見検討委員会とは

区では、小田急線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）連続立体交差事業および複々線化事業に伴う鉄道地下化後の線路跡地における公共施設の利用を目的とした上部利用計画（区案）の策定に向けて、募集しました区民の皆様からのアイデアについて、その実現性や効果などを整理・検討していくにあたり、連立事業や都市計画、みどり、産業振興など様々な知識、経験豊富な学識経験者の方々に専門的な見地からご意見をいただくため、学識経験者を含めた委員会「小田急線上部利用区民意見検討委員会」を設置しました。

○小田急線上部利用区民意見検討委員会の委員

委員長	眞野 源吾	世田谷区生活拠点整備担当部 部長
副委員長	金澤 秀一	世田谷区都市整備部 部長
委員	矢島 隆	(財)計量計画研究所 常務理事
	岸井 隆幸	日本大学理工学部 教授
	大野 二期	跡見学園女子大学マネジメント学部 教授
	金子 忠一	東京農業大学地域環境科学部 教授
	宮原 健昭	(株)アール・アイ・エー 代表取締役専務
	安水 貴好	世田谷区北沢総合支所 支所長
	志村 千昭	世田谷区道路整備部 部長
	工藤 健一	世田谷区交通政策担当部 部長

第1回委員会の概要

平成20年7月8日（火）に第1回委員会を開催しました。区民アイデア募集内容の検討などを行い、その後、下北沢駅周辺を視察しました。

(1) 連続立体交差事業および周辺街づくりについて

連続立体交差事業、都市計画道路事業、地区計画等について事務局より説明しました。

(2) 小田急線上部利用区民意見検討委員会設置の目的およびスケジュール

区民などの提案を専門的立場から検討、整理することを目的とし、平成21年度中に委員会として検討結果をまとめることを確認しました。

(3) 上部利用における区民アイデア募集について

区民アイデア募集要領（案）をもとに内容について検討しました。

◎主な意見

- ・アイデア募集にあたって、制約などがあればすべて記載の方がよい。
- ・アイデアをもらう範囲は不明確にならないように気をつけた方がよい。
- ・自由度の高い部分と制限のある部分（駅前広場など）に色分けした方がよい。
- ・応募要領に記載されている凡例では判りにくい。中途半端な表現はしない方がよい。
- ・線路跡地を区が使用するには費用がかかることも、明記した方がよい。

上記の意見を受け、区では次の修正を行い、平成20年8月1日よりアイデア募集を実施しました。

- ・凡例部分で、アイデア募集を行う範囲と鉄道地下化区域の範囲を明確にしました。
- ・制限のある部分について明記しました。
- ・利用の際には、区の財政負担による旨を記載しました。